

松本市地域づくり推進交付金実績報告書

令和8年3月31日

(あて先)松本市長

(申請者) 白板地区住みよい町づくり協議会

1 交付決定額

I

金 650,000円

2 本年度実績の報告

① 本年度の交付金事業の報告

① 事業名: 白板地区住みよい町づくり協議会事業(継)	
実施主体	白板地区住みよい町づくり協議会
実施日(期間)	令和7年4月1日～令和8年3月31日
実施場所	白板地区内
事業概要	1 部会の活動 地域課題の解決にむけて、3つの部会に分かれて課題を検討し、事業に取り組みました。新型コロナウイルス感染拡大期が長く続いたことにより生活様式、活動や人との付き合い方に変化があり、新たな健康習慣を踏まえ、地域の絆を強め、住民同士の協力を促進する活動を続けました。 (1) 防災隊 「防災意識の向上と災害時に助け合える体制づくり」を活動目標に掲げ、白板地区防災部長会と合同開催の防災講演会の開催、山梨県立防災安全センターへの研修施設及び日赤奉仕団による炊出し訓練、町会防災マップの修正・配布、シェイクアウト訓練への参加、防災備品の整備などを行いました。 (2) すこやか隊(高齢者支援) 活動目標に掲げた3本柱(①福祉ひろばでの「100えんカフェ」の開催、②買い物支援、③担い手づくり)に取り組みました。 福祉ひろばから離れた地区からも「100えんカフェ」やひろば事業に来られるよう、タクシーを活用した送迎を実施しています。また、白板地区文化祭では、福祉ひろばと白板地区公民館をリモートで繋げ、それぞれの催し物を共有しました。 誰もが平等に参加できる地域共生の実現に向けて、「凸凹カフェ」を実施し、買い物支援・移動支援について考える「凸凹マ

	ルシェ」や「凸凹夏祭り」を開催しました。また、昨年に引き続き実施した高齢者の困りごと等の実態調査を分析し、これからの取組みを検討しました。 (3) つながり隊（子供育成） 「子どもの支援と住民同士の交流の充実を図る」ことを活動目標として掲げ、活動しました。 毎月第2水曜日を中心に、田川小学校及び開智小学校児童の下校時の見守り活動を実施しました。 白板地区子ども会育成会との共催事業「やきいも大会」の11月8日開催に向け、食育を兼ねてサツマイモを栽培しました。 やきいも大会自体は、多世代交流の場となり、関係団体が実施した工作等でも盛り上がりを見せ、約280人が参加しました。 3月20日には凸凹マルシェを開催し、防災ブースでは保存食の試食やハザードマップを配付し、地域での防災の在り方を再認識しました。 2 会報の発行 協議会の活動を広く地区住民に知らせるため、協議会だより、公民館だより、福祉ひろばだよりを一体化した「白板地区だより」を毎月発行し、全戸に配布した。同時に松本市ホームページにも掲載し、誰でも閲覧できる環境を整備した。			
地域づくりの成果・効果	① 白板地区大運動会での炊き出し訓練、凸凹夏祭りでの災害時に備えた公衆電話の使い方講座、凸凹マルシェでは、改めてハザードマップを配付するなど、防災に関する取組みを進めることができた。 ② ひろば事業への参加では、事業へ参加するための移動手段をはじめ、地区内の買い物支援等を行ったほか、子供からお年寄りまで地区全体で集まる機会を提供でき、顔の見える地域づくりに貢献した。 ③ 「白板地区だより」を毎月発行したことにより、協議会の活動や地区の情報を住民に詳しく伝えることができた。			
課題	引き続き、地域防災力の向上が地区住民から求められており、避難所運営などをはじめ、万が一に備えての各種備品の確保などを計画的に行う必要がある。 また、社会情勢の変化により地域に求められる役割も変化してきており、地域の絆を強め、住民同士の協力を促進する活動を検討していく必要がある。			
決算額	財源内訳			
	a+b+c	a	b	c
	375,249円	357,867円	16,835円	547円

a：本年度の交付金額のうち、この事業に充当した額

b : 前年度の交付金の繰越額のうち、この事業に充当した額
c : この事業に充当したその他の財源の額

② 事業名：地域の防災体制の整備事業（継）				
実 施 主 体	白板地区住みよい町づくり協議会			
実施日(期間)	令和7年4月1日～令和8年3月31日			
実 施 場 所	白板地区内			
事業概要	① 「防災隊部会」において、備蓄品の保管や災害時の対策を検討した結果、近年大きな地震等の映像を見る機会が増えていることを踏まえ、災害時に最低限なにが必要かを検討し、災害時に一次避難所で必要となる簡易トイレや防災ラジオなどの備品配布を行った。 また、「防災隊部会」主催で、山梨県立防災安全センターの視察研修を実施し、地震体験、煙道体験などを行った。 ② 町会で、災害時の一時集合場所や要援護者宅を明記するなどして作成した防災マップの見直しを行い、最新の地図を町内に配布した。また、新規に作成や見直しをする際に考えやすいよう、消火栓等の記載された町会の白地図を全町会に配布した。			
地域づくりの成果・効果	① 白板地区公民館は、大規模災害時は要支援者優先避難所であり、豪雨等の際には、局所的・短期的避難所となる。防災備品を整備することで、住民の安心につながるとともに、有事でも迅速に対応できる体制を整えることができた。 ② 日頃から防災意識の向上を図るとともに、災害発生時に迅速な対応ができる体制を整えることにより、住民の安全・安心な生活が可能となった。			
課 題	① 防災備品の有効活用を図るため、地区住民の誰もが扱えるよう、訓練や講習会、視察研修などを実施していきたい。 ② 防災には、住民同士の日頃のコミュニケーションが重要である。本協議会の全体目標である「白板地区をつなぐ、顔の見える関係づくり」の構築を推進していくため、引き続き取り組んでいきたい。			
決 算 額	a+b+c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	253,920円	253,920円	0円	0円

決 算 額 (計) (①+②+③)	A+B+C	財 源 内 訳		
		A	B	C
	629,169円	611,787円	16,835円	547円

A : 各事業のaの合計額
B : 各事業のbの合計額
C : 各事業のcの合計額

(2) 本年度の積立実績の報告

事業名： 災害対策資金積立事業					
積立目的	災害発生時などの緊急時に対応する経費及び災害に備える体制づくりのための経費に充当する。				
積立期間	平成27年度から 令和15年度まで （本年度11年目）				
積立ての目標金額	1,000,000円				
積立実績	区分	積立額	積立事業への積立金充当額	差引累計	
	前年度までの積立経過	1年目	102,092円	円	102,092円
		2年目	20,000円	円	122,092円
		3年目	180,000円	円	302,092円
		4年目	180,000円	円	482,092円
		5年目	180,000円	520,000円	142,092円
		6年目	195,000円	円	337,092円
		7年目	195,000円	円	532,092円
		8年目	195,000円	円	727,092円
		9年目	0円	円	0円
			10年目	135,000円	
		11年目	0円		862,092円
	本年度の積立実績		D 0円	E 0円	F 862,092円
	合計額		1,382,092円	520,000円	
本年度積立金を充当して実施した事業の概要					
実施主体					
実施日(期間)					
実施場所					
事業概要					
地域づくりの成果・効果					
決算額	E+G	財源内訳			
		E	G		
充当後の積立事業取扱方針					
積立継続（令和15年度まで）・ 廃止					
廃止する場合は、積立金残高(F)の処理方法					

E：充当した積立金の額

G：その他の財源の額

(3) 本年度の交付金のうち、翌年度に繰り越す金額の報告

I-A-D	金 38,213 円
-------	------------

[参考]繰越上限額 = $I \times 2 / 10$